

龍谷大学 社会共生実習ニュースレター

Infinity Vol.05

～大学と地域の協働力は無限大∞～

2020.12.10 発行

発行元
龍谷大学 社会学部
社会共生実習支援室

〒520-2194
滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5
龍谷大学瀬田キャンパス内
社会共生実習支援室

TEL:077-544-7230

FAX:077-543-7615

E-mail:co-ex@ad.ryukoku.ac.jp

学生による介護ツアー実施に向けて

「いくつになっても、出かけられる！～高齢者を元気にする介護ツアー企画」（担当教員：高松智画准教授）が後期から始まりました！このプロジェクトでは高齢者の方を対象とした介護ツアーを学生が企画・実施しようと試みています。それにあたり、まずは高齢者の方の立場に立ち、どのような配慮が必要かなどを「株式会社どこでも介護」の橋本英司氏に教わりました。

「障害物があるから無理」ではなく「手段を考える」等、高齢者の方の気持ちに寄り添ったツアーを企画するという考え方に学生も熱心に聞き入っていました。

後日、学生たち自身で高齢者の方に聞き取り調査を実施し、ツアーを行うにあたって「不安なこと」「どのような場所に行きたいか」「旅行での思い出」などを質問したところ「体力が落ちたので旅行に行けるか不安」「近場であっても非日常が味わえるところへ行きたい」「屋外の自然豊かなところへ行きたい」などのお声をいただきました。



▲橋本英司氏



▲車椅子の介助体験



▲高齢者の方への聞き取り調査の様子



▲聞き取り調査を行う受講生

聞き取り調査後、学生からは「旅行はどこへ行くかということも大事だが、誰と行くかも大事だと思った」などの感想が述べられました。今後、学生たちは意見を出し合いながらツアーの計画を立てていきます。

～大津の「文化財」の活用方法を探る～

「大学は社会共生に何ができるのかー文化財から“マネー”を創出するー」(担当教員：高田満彦教授、猪瀬優理准教授)では、大津市の文化財を調査し、その魅力や活用について問題点も踏まえながら考え、観光開発の在り方を探っています。

前期はオンラインも活用し、地域の専門家の方々から意見を聞く機会を積極的に設けてきました。後期に入り、大津市内でのフィールドワーク、地域の方へのインタビュー等を通して、地域の資源について調査を行っています。「地域」と「文化財」を学生の視点と発想で結び付けていき、活用方法を検討していきます。



▲旧大津公会堂でお話を聞く受講生



▲京都新聞社論説委員の方からお話を聞く受講生



▲大津町家の宿を見学



▲大津歴史博物館を見学

ハルモニのお話を聞く



▲在日朝鮮人のハルモニからお話を聞く受講生

「多文化共生のコミュニティ・デザイン～定住外国人にとって住みやすい日本になるには?～」(担当教員：川中大輔講師)では、南珣賢氏(NPO法人 京都コリアン生活センター・エルファ副理事長/事務局長)のご協力のもと、受講生らが在日朝鮮人一世であるハルモニ(韓国・朝鮮語で祖母、おばあさんの意)にインタビューを行いました。

2歳で父親を追って淡路島に来た当時は馬小屋で生活したこと、「朝鮮」と言われ、不平等な扱いを受けたことなどを語ってくださいました。



▲お話をしてくださったハルモニ

伏見の食材を使って特産品をつくる!

「伏見の食材を活かした特産品づくりと地域連携」(担当教員：坂本清彦准教授)では、京都伏見の農家を訪問し、地元野菜の生産状況の見学や地元のおまつりで野菜販売のお手伝いをしました。これらの経験をもとに、伏見の特産品の商品化を目指します。



▲地元農家さんの野菜販売のお手伝い



▲地域特産の野菜の生産状況を見学

SCHEDULE 今後の主なイベント

◆2021年1月8日(金)

「社会共生実習活動報告会」
時間: 11:05～12:30
会場: オンライン

◆2021年1月16日(土)

「大津エンパワねっと後期報告会」
時間: 9:30～12:00
会場: オンライン

詳細は「社会共生実習Webサイト」でお知らせします!

Webサイト・SNS では最新の情報を随時更新中♪



社会共生実習
Webサイト



社会共生実習
Twitter



社会共生実習
Instagram



社会共生実習
Facebook



エンパワ
Twitter



坂本アキエ
Facebook

誌面のアイデア募集!

・読んでみたい記事
・知りたい情報 etc...
ご意見・ご感想も
お待ちしております。
社会共生実習支援室まで
お寄せください。